

第1学年3組 社会科学習指導案(II 実践資料)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山田, 亘 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024928

第 1 学年 3 組 社会科学学習指導案

指導者 山田 亘

1 学習のくくり「世界の諸地域の特色」（4 2 時間）

2 共通テーマを軸とした教科カリキュラムの構想図

社会科 3 年間でめざす姿

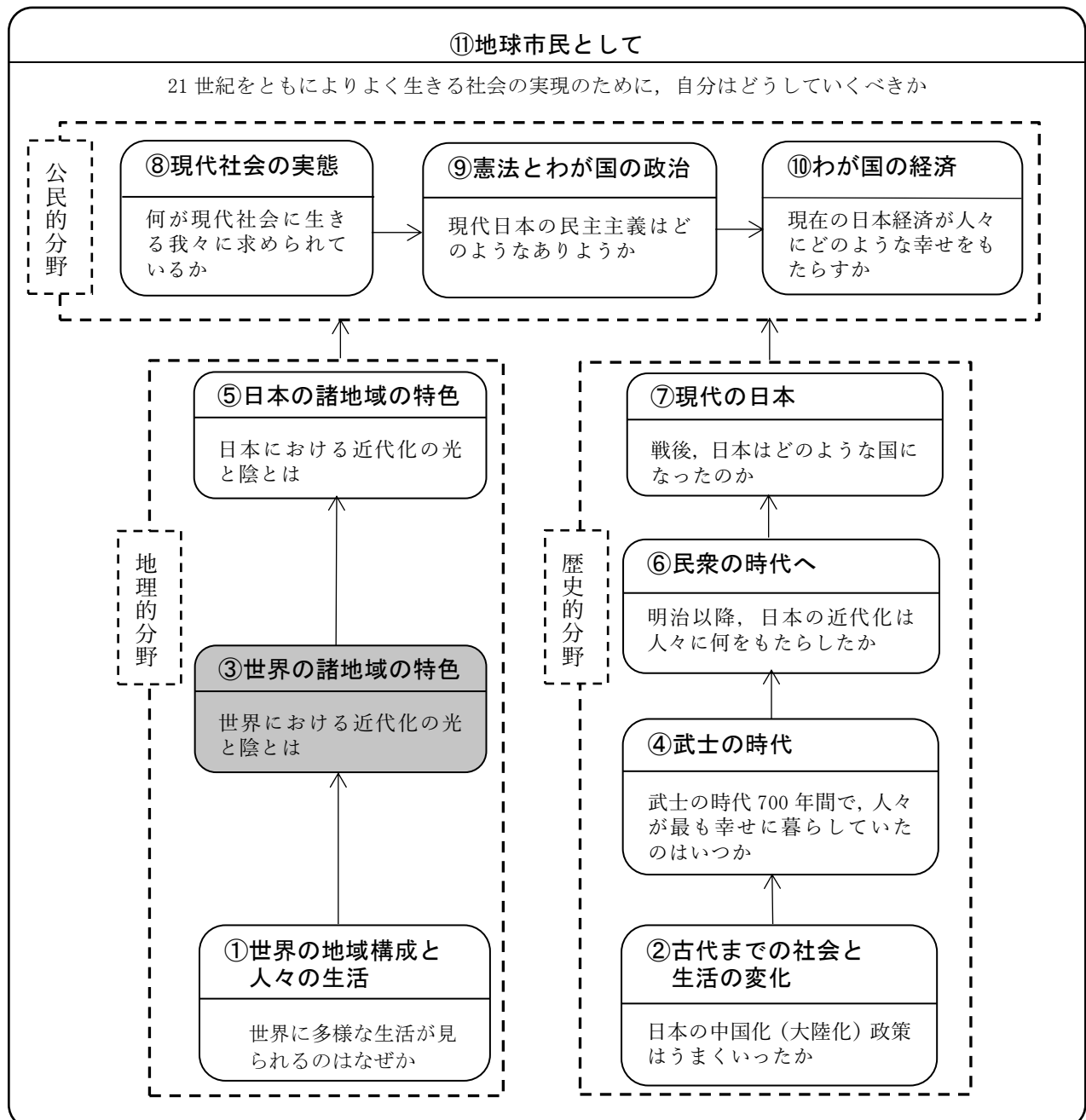
すべての人々が幸せに生きられる社会の実現をめざし、社会事象を多面的・多角的にとらえ、公正に判断し、社会的な課題を自分にひきつけて考え、ともによりよい社会を築く担い手になろうとする意思をもつ生徒

上段：学習のくくり名

下段：共通テーマ

社会科 3 年間の共通テーマ

21 世紀をともにによりよく生きる社会の実現のために、自分はどうしていきべきか



3 学習のくくり「世界の諸地域の特色」について

(1) 学習の構想表

学習活動 (下線部は本時の学習場面)			育成する資質・能力の要素と 階層レベル		知識		スキル			情意		
					A 内容	B 方法	C 認知	D 身体	E 社会	F 興・関	G 追究	
ガイダンス (2)	《共通テーマと共通課題の理解》 ○世界の国々には、人やモノ、カネ、情報などが不均等に分布していることを「貿易ゲーム」から学び、「豊かさや幸せ」についておぼろげながらにイメージする。(1)				3		3					
	○身の回りの生活や、既習の学習のくくりで考察してきた生活のあり方をもとに、近代化が人々にもたらす光と陰を「豊かさや幸せ」という視点から現代世界の生活について問い直すことで、共通テーマや共通課題を理解する。(1)				4		4	—	2	2	2	
つかむ学習 (33)	北アメリカ (7)	○世界有数の経済大国であるアメリカ合衆国。そこで行われる大規模で合理的な農業、最先端技術を有するハイテク産業などを視点とし現状を考察する。また、それを基盤として、人々が営む大量生産・大量消費をベースとした生活様式の善し悪しについて考え、豊かさとは何か自分の意見をまとめる。				1	1	1	—	2	1	
						2	2	2			2	2
						3		3				
	アフリカ州 (7)	○発展途上国が多いアフリカ州諸国。その要因について、過酷な自然環境の中で行われる農業、外国に依存する鉱産資源の開発産業などを視点とし現状を考察する。また、現在の脆弱な経済基盤をとらえた上で低迷する食糧自給率問題、経済支援問題などを調べ、本当の豊かさとは何か、北アメリカ州の学びを踏まえ自分の意見をまとめる。 (本時7/7)				1	1	1	—	3	2	2
						2	2	2			2	2
						3		3				
	南アメリカ (5)	○経済格差が残る南アメリカ州。各国の経済成長率の比較を通し、都市と産業の発達、環境問題とエネルギー開発とのバランス、それらに伴う人々の営みの変化などを、様々な資料から考察し、持続可能な開発目標 (SDGs) について自分の意見をまとめる。				1	1	1	—	2	2	2
						2	2	2				
						3						
	ヨーロッパ州 (5)	○巨大なEU圏を確立したヨーロッパ州。帝国主義時代からEU統合前後の歴史的背景や経過から、人々の生活や地域の変容、多様な産業の展開と自然環境の変化について考察する。それをもとにEU統合の成果と課題を人々の生活と関連付けてまとめ、EUにおける地域特有の課題について説明する。				1	1	1	—	2	2	2
						2	2	2				
						3		2				
	オセアニア州 (4)	○ヨーロッパからアジア州へと結びつきを強めていくオセアニア州。貿易相手国の変化の要因について、観光や貿易を中心とした産業構造の変化や、貿易相手国と貿易品の変化を示す様々な資料をもとに考察する。また、先住民の文化、移民の出身国の変化なども踏まえ多文化社会における地域特有の課題について説明する。				1	1	1	—	2	2	2
						2	2	2				
						3						
	アジア州 (5)	○アジアにおける経済発展をリードする中華人民共和国。発展に伴う人口の増加が及ぼす課題を、居住環境の変化、民族や宗教分布、人口の地域間移動の推移、他国や他地域との結びつきなどの視点を通し考察する。また、その考察結果をもとに、現代のアジア州の人々の幸せについて意見をまとめる。				1	1	1	—	2	2	2
						2	2	2				
						3		3				3
追究する学習 (5)	《追究課題の設定》 ○つかむ学習で学んだ6つの州から1つを選択し、近代化は人々の営みに何をもたらしたのか、「近代化の光と陰」という視点から追究課題を設定する。(1)				3		3	—	3	3	3	
	《追究活動》《交流活動》 ○交流相手の優れた見方を認めたり、改善点をアドバイスし合ったりして、「近代化の光と陰」に対する見方・考え方を深める。 ○近代化がもたらした各州の地域的特色とその変容を関連付けて、「豊かさや幸せ」という視点から、私たちの営みについてとらえ直し、自分なりの考えをまとめる。(4)				3		3	—	3	3	3	
つなげる学習 (2)	《振り返りの記述》《振り返りの記述の交流》 ○これまでの学習を振り返り、共通テーマに対する自己の最適解をまとめたり、仲間との交流を通して考えを深めたりする。 【期待する生徒の表れ】 ・地域的特色やその変容、各州が抱える地理的な課題やその解決策について多面的・多角的に考察し、記述している。 ・近代化が人々の生活にもたらしたもののについて「近代化の光と陰」という視点から各州の地域的特色とその変容を考察し、語り合っている。 ・より多くの人々が幸せに生きられるよりよい社会のあり方を「豊かさや幸せ」という視点からとらえ直している。 など				4		4	—	2	3	4	

(2) 本学習のくくりでめざす生徒の姿とその姿に迫るための具体的な手だて

本学習のくくり「世界の諸地域の特色」は、次期学習指導要領の地理的分野(2)内容のB「世界の様々な地域」にあたるものである。ここでは(2)「世界の諸地域」の世界の多様な地域とそこに住む人々の生活を主な学習対象とし、世界の諸地域の多様性や地域の特色を理解する学習を通して、世界の地理的認識を養うことをねらいとしたい。学習のくくり①「世界の地域構成と人々の生活」では、近代化した現代の生活のあり方を問い直した。また、学習のくくり②「古代までの社会と生活の変化」では、原始・古代の人々の生活が急速に変化していったことによる光と陰について、多面的・多角的に考察し、現代の人々の営みのありようについて考えた。そこで、本学習のくくりでは、これまでの学習のくくりで培ってきた社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、地理的な課題を追究したり解決したりするだけでなく、自らの「豊かさ」観や「幸せ」観に迫ることをねらい、次のように構成する。まず、世界を6つの州に分け、「近代化」が各州にもたらした地理に関わる事象をもとに、地理的な課題に着目しながら、それぞれの州に暮らす人々の営みを自らの営みと比較したり関連づけたりすることで、各州の地域的特色とその変容をとらえさせる。本時では、南半球に位置し、多くの国々が南北問題を抱え、未だ、開発途上ではあるアフリカ州を扱う。追究する学習以降では、各州で見られた「近代化の光と陰」を自分のこととしてとらえ、現在・将来の私たちの営みにどう関与し、どのような影響を与えるものなのかを問い直すことによって、「近代化の光と陰」に対する見方・考え方をさらに深めさせたい。また、自分なりの「豊かさ」観や「幸せ」観から現代に生きる人々の営みをとらえ直し、より多くの人々が幸せに生きられる、よりよい社会のありようについての考えをもたせたい。

そこで、本学習のくくりでめざす生徒の姿を次のように設定する。

世界に生きる人々の生活を「豊かさや幸せ」からとらえ直し、私たちの営みに結びつけながら、「近代化の光と陰」に対する自分なりの見方・考え方を深め、よりよい社会のありようを追究しようとする生徒

本学習のくくりでは、上記のめざす生徒の姿に迫るために、次の学習活動に取り組ませる。

本学級は、社会科に関する基礎的・基本的な知識を的確にとらえ、正しく理解しているために、内容を深く追究し、疑問に思うことは互いに相談し、考えをまとめることができる学級である。このように活発に意見を伝え合える集団であるので、ガイダンスにおいて、「貿易ゲーム」を行う。世界の国々のおかれている地理的要件は実に不平等で不公平であり、人やモノ、カネ、情報などのあらゆるものは地球上に不均等に分布している。そのことを、この活動にゲーム性を織り交ぜるだけでなく、活動を振り返らせ、気づいたこととしてメモさせる。また、地理に関わる事象についての学習計画表を示し、今後の学習活動の見通しをもたせるとともに、共通テーマや共通課題を提示することで、本学習のくくりにおける教科学習観や思想、見識、世界観や自己像などについておぼろげながらにイメージさせる。それにより他人事としてではなく、自分のこととして地理的な課題を連想させ、課題の解決に向けた主体的な学びに向かわせる。

つかむ学習では、位置や分布、場所、人間と自然との相互依存関係、空間的相互依存作用などを地理的な課題として考察する際の視点とし、世界各州の地域的特色や、そこで見られる地球的課題と地域的特色の関係をとらえさせる。その際、さまざまな資料から情報を収集し、読み取り、まとめた自らの定立をワークシートに記入させ、他の人の反定立を傾聴し、交流活動を通して見いだした総合や新たな知見、新しい価値観を生みださせるような知的な活動をうながしたり、学習内容の社会的意義や有用性に即した課題について追究させたりすることで対話的な学びに向かわせる。また、学習計画表の学習内容のまとまりが終わる度に、気づきのメモに共通テーマに対する自分なりに見いだした答えを記入させ、それを積み重ねることで、よりよい答えを見いださせていく。

追究する学習では、つかむ学習で学んだ6つの州から1つの州を選択させ、近代化が人々の営みにもたらしたものは何かという視点から「近代化の光と陰」について追究課題を設定させ、追究学習を行う。つなげる学習では、これまでの学習を振り返り、共通テーマに対する自分なりの最適解を振り返りの記述にまとめる。さらに振り返りの記述の交流をすることにより、社会的な見方・考え方を広げさせ、再考・記述させることにより、この学習のくくりにおける教科観や見識、世界観や自己像、すなわち、共通テーマに対して人間の営みと関連づけた考えを深めさせる。

(3) 本学習のくくりの共通テーマと共通課題

共通テーマ (本質的な問いの 階層レベル)	世界における「近代化の光と陰」とは(レベル[4])
共通課題	現代に生きる人々の生活について「豊かさや幸せ」と結び付け、近代化した現代の私たちの生活を問い直し、レポートにまとめよう。

4 本時について(本時16/42)

(1) 本時の目標

【社会的な思考・判断・表現】	近代化がもたらす地球的課題と地域的特色の関係をとらえ、アフリカ州で生活を営む人々の本当の豊かさとは何か、交流活動を通して自分の考えをまとめることができる。 ([A B 3]×[C 3]・[E 3])
----------------	--

(2) 学習過程

●生徒の活動 ※期待する生徒の表れ	・指導上の留意点 ○支援 ◇評価
●前時までの学習内容を確認する。 ●学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。	・アフリカ州の人々の「豊かさ」を記述したレポートと、「農業」「工業」「経済」「文化」「営み」「格差」の5つの視点から表したレーダーチャートを参考に、アフリカ州の現状を確認する。 ・大量生産・大量消費をベースとした生活を営むアメリカ合衆国の豊かさを表したレーダーチャートを参考に、2州の特色を想起させる。
アフリカ州で生活を営む人々の本当の豊かさとは何か考えよう。	
●アフリカ州に暮らす人々は、「豊か」かどうか、自分の考えを班内の交流活動で発表する。 ●交流活動を通して再考した「本当の豊かさ」とは何か、ワークシートに考えをまとめる。 ※近代化がもたらす地球的課題と地域的特色の関係をとらえ、アフリカ州で生活を営む人々の本当の豊かさとは何かについて交流活動を通して自分の考えをまとめ、記述している。 ●本時の学習を振り返り、共通テーマについて考えたことや気づいたことを学習計画表の「気づきのメモ」に記入する。	・気づきのメモを交えたレポートを用いて、具体的な事象やその変容を踏まえて発表するよう伝える。 ・交流活動では「豊かさ」を記述したレポートだけでなく、「農業」「工業」「経済」「文化」「営み」「格差」の5つの視点から表したレーダーチャートも披露するよう促す。 ・「本当の豊かさ」とは何かワークシートに記述するよう伝える。 ・アメリカ合衆国についての気づきのメモを参考にして「本当の豊かさ」について考えをまとめるよう伝える。 ・アフリカ州の現状や、具体的な事象とその変容を加味し、考えをまとめるよう伝える。 ○「本当の豊かさ」がどのようなものか迷っている生徒には、自分の考えと友達との考えの共通項を見いだして記述し、迷った理由も記述するよう指示する。 ○「本当の豊かさ」がどのようなものか記述できた生徒には、自分たちの営みの中にそれがあるのか考えをまとめるよう助言する。 ・本学習のくくりにおける共通テーマに対してどのような気づきを得たのかを、これまでの気づきのメモを振り返りながら記入させる。 ◇本時の目標について、※印のような生徒の表れが見られたか。